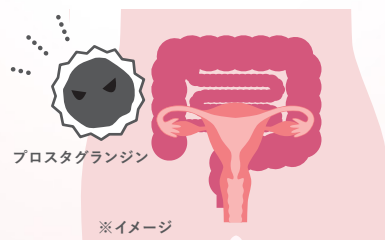


生理痛のしくみ

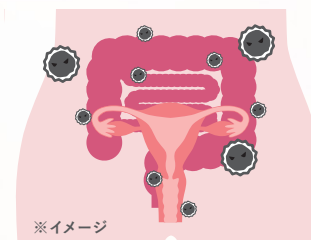
生理中のカラダはデリケート。あの生理痛特有の痛みはどのように生まれるのか解説します。

1 生理になると起こること



生理になると、子宮を収縮させて子宮内膜をカラダの外に押し出すために子宮で“プロスタグランジン”という物質が作られます。

2 下腹部に痛みをもたらす物質



この“プロスタグランジン”はズキズキする痛みの原因にもなる物質。どんどん増えて血液中に入っていきます。

3 腸まで収縮させていく



“プロスタグランジン”が血液中に入ると子宮だけでなくまわりの腸まで収縮させてしまいます。これが生理特有のぎゅ〜っとねじれるような痛みの正体。特に若いころは子宮の出口が狭くて痛みを感じやすいと言われています。

鎮痛薬はこのズキズキする痛みには効果があります。
一方、生理痛専用薬はぎゅ〜っとねじれるような痛みを含む
両方に効果があるのが特長です。



痛み止めのお薬は、早くのむことで痛み物質が増えるのを食い止めるので効果を感じやすくなります。